

平成 29 年度  
事業概要



和歌山県動物愛護センター  
和歌山県鳥獣保護センター



「人と動物が共生する  
潤いのある社会づくり」  
をめざして



和歌山県動物愛護センター

# 目 次

## 第 I 章 総括

1 組織・機関	・・・	1
(1)沿革	・・・	1
(2)和歌山県動物愛護管理関係機関	・・・	3
(3)施設の概要	・・・	3
(4)組織及び職員構成	・・・	5
2 業務の内容	・・・	5
3 管轄区域図	・・・	6
4 主要備品一覧	・・・	7
5 取材等対応状況	・・・	8

## 第 II 章 動物愛護センター

平成 29 年度年間事業実施状況	・・・	9
1 動物の保護管理に関する事業	・・・	10
(1)県内収容頭数及び措置状況	・・・	10
県内保護頭数等の推移		
(2)センターにおける収容頭数及び措置状況	・・・	12
(3)県内苦情受理件数	・・・	13
(4)センター苦情処理件数	・・・	13
(5)狂犬病の診断	・・・	14
2 動物愛護等啓発事業	・・・	15
(1)動物の譲渡事業	・・・	15
①譲渡頭数		
②飼い方講習会		
③譲渡事業にかかるボランティア		
④譲渡後のフォロー、「わうくらぶ」との協働		
(2)動物愛護に関する説明	・・・	17
① 動物愛護教室		
②AAA		
③事業説明及び施設見学		
(3)犬とのふれあい	・・・	17
(4)猫とのふれあい	・・・	17

(5)体験教室・職業体験	・・・ 18
①飼育体験教室	
②獣医師体験教室	
③獣医学生インターンシップ研修	
④職業体験、学生研修、教員研修	
(6) イベント事業	・・・ 19
①WAW FESTA (わうフェスタ)	
②特別セミナー等	
③センター外イベント等参加	
④その他	
(7) 「わうくらす」事業	・・・ 20
①平成29年度の実施	
②わうくらす講習会及び研修会	
(8) ボランティアとの協働	・・・ 23
①ボランティア登録数	
②平成29年度各事業実績	
3 地域猫対策事業	・・・ 25
(1)地域猫の手術	・・・ 25

### 第Ⅲ章 調査研究

1 野良猫における動物由来感染症病原体保有状況調査	・・・ 26
2 調査研究年表	・・・ 27

### 第Ⅳ章 鳥獣保護センター

○ 傷病野生鳥獣救護状況	・・・ 28
--------------	--------

### 資料編

平成29年度来館者数と年度別来館者数	・・・ 29
狂犬病予防法に基づく登録数及び予防注射済票交付数	・・・ 30

# 第 I 章 総 括

## 1 組織・機関

### (1) 沿 革

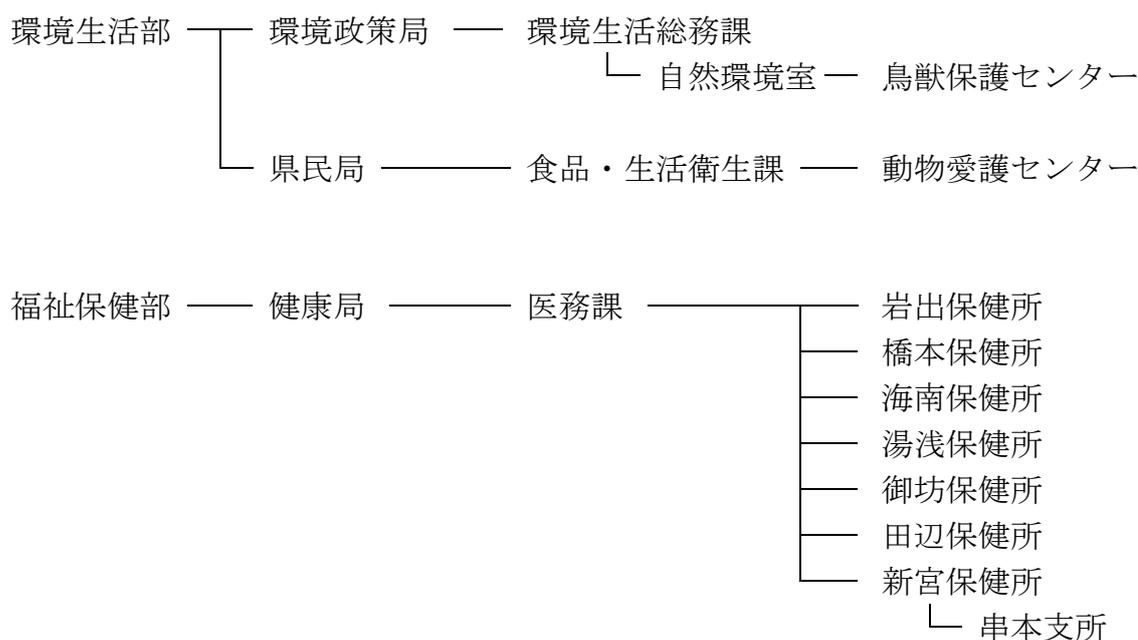
「狂犬病予防法（昭和 25 年法律第 247 号）」及び「動物の愛護及び管理に関する法律（昭和 48 年法律第 105 号）」に基づく業務については、本県では保健所において執行されていたが、動物の保護管理業務の効率化及び動物愛護、適正飼養の普及啓発を行う拠点として、「人と動物が共生する潤いのある社会づくり」を目指して、平成 12 年 4 月「和歌山県動物愛護センター」が設置された。

また、負傷鳥獣の救護、鳥獣保護思想の普及啓発、鳥獣保護に関する調査研究等の効果的実施をする拠点として「和歌山県鳥獣保護センター」が併設された。

昭和 25 年 8 月	「狂犬病予防法」施行
昭和 32 年 12 月	「和歌山県飼い犬等取締条例」施行
昭和 49 年 4 月	「動物の保護及び管理に関する法律」施行
昭和 61 年 12 月	和歌山県長期総合計画に動物愛護センター計画を盛り込む
平成 5 年 4 月	「和歌山県の動物行政在り方検討委員会」設置
平成 7 年 3 月	「和歌山県の動物行政在り方検討委員会」報告書を知事に提出
平成 8 年 3 月	基本構想策定
平成 9 年 3 月	基本計画（機能・運営計画）策定
平成 9 年 4 月	第 8 次鳥獣保護事業計画書に鳥獣保護センターの設置を盛り込む
平成 9 年 11 月	展示物基本設計策定
平成 10 年 3 月	建設用地取得
平成 10 年 5 月	建築基本・実施設計完了
平成 10 年 7 月	展示物実施設計策定
平成 10 年 12 月	動物愛護センター建設工事着工

平成 11 年 3 月	動物愛護センター敷地内に鳥獣保護センターの併設が決定
平成 11 年 10 月	鳥獣保護センター建築工事着工
平成 12 年 3 月	展示物制作業務完了
平成 12 年 3 月	動物愛護センター・鳥獣保護センター竣工
平成 12 年 4 月	「和歌山県動物の保護及び管理に関する条例」施行
平成 12 年 4 月	和歌山県動物愛護センター・鳥獣保護センター業務開始
平成 12 年 12 月	「動物の愛護及び管理に関する法律」改正
平成 12 年 12 月	「和歌山県動物の愛護及び管理に関する条例」改正
平成 14 年 6 月	「わうくらす」を開始（野上町立野上小学校）
平成 14 年 10 月	「身体障害者補助犬法」施行
平成 15 年 4 月	県民参加により実施する動物愛護普及啓発事業を開始
平成 17 年 6 月	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」施行
平成 18 年 6 月	「動物の愛護及び管理に関する法律」改正施行
平成 18 年 10 月	環境省「動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針」告示
平成 20 年 4 月	和歌山県動物愛護管理推進計画を施行
平成 21 年 3 月	和歌山県譲渡事業促進プログラムを施行
平成 25 年 9 月	「動物の愛護及び管理に関する法律」改正施行
平成 28 年 3 月	「和歌山県動物の愛護及び管理に関する条例」改正
平成 28 年 6 月	譲渡にかかるボランティアの登録制度を開始
平成 29 年 7 月	和歌山県動物の譲渡等実施要綱を施行

(2) 和歌山県動物愛護管理関係機関 (平成29年度)



(3) 施設の概要

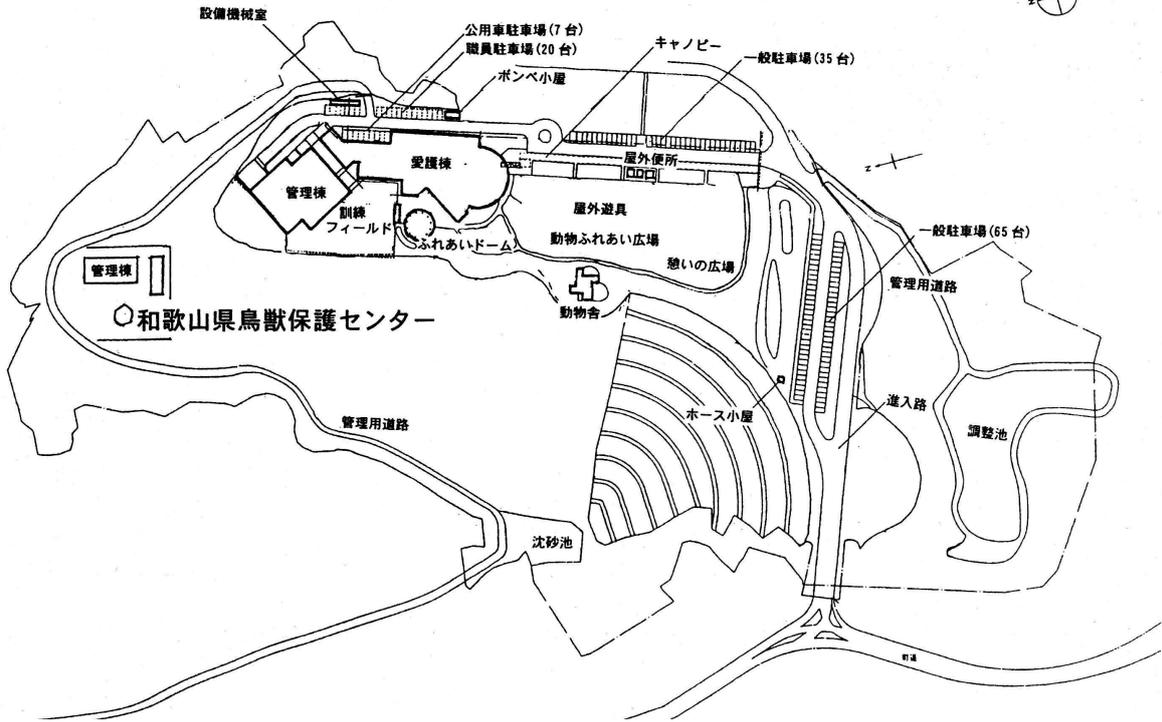
所在地 動物愛護センター：和歌山県海草郡紀美野町国木原372番地  
 鳥獣保護センター：和歌山県海草郡紀美野町国木原381番地

面積 敷地面積 95,000m<sup>2</sup>  
 動物愛護センター：有効平地面積 31,750m<sup>2</sup>  
 鳥獣保護センター：有効平地面積 1,550m<sup>2</sup>

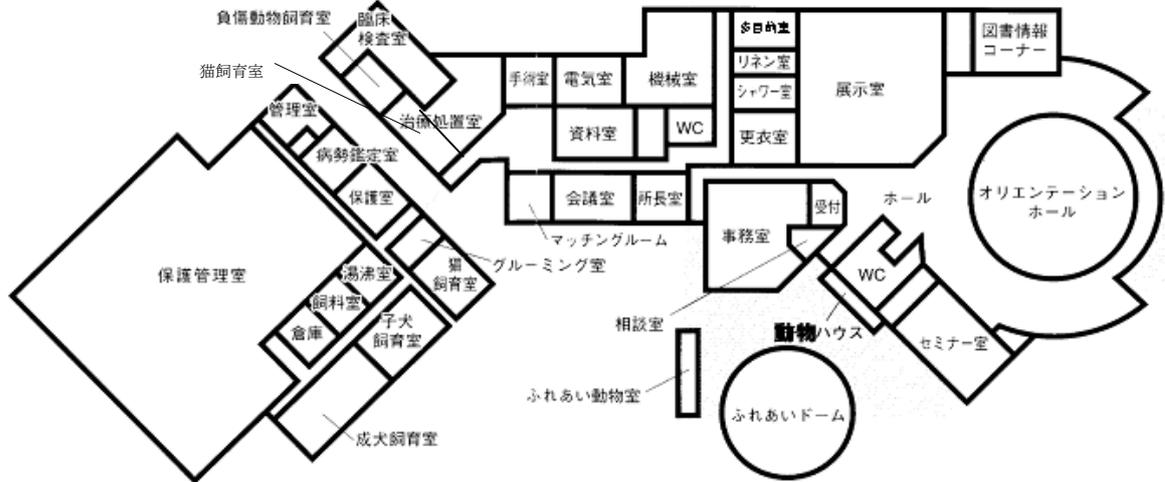
施設

	動物愛護センター	鳥獣保護センター
	4,057m <sup>2</sup>	463m <sup>2</sup>
延べ床面積	(内訳) 本館(愛護棟) 2,342m <sup>2</sup> (管理棟) 1,132m <sup>2</sup> (ふれあいドーム) 113m <sup>2</sup> ふれあい動物舎 121m <sup>2</sup> その他付属棟 349m <sup>2</sup>	(内訳) 管理棟 264m <sup>2</sup> 飼育棟 108m <sup>2</sup> フライングケージ 87m <sup>2</sup> 浄化槽機械室 4m <sup>2</sup>
構造	RC・S造/地上1階 (一部地下1階)	RC・S造/地上1階

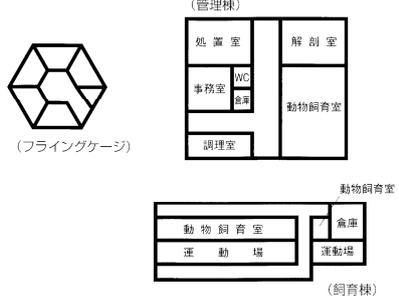
# 和歌山県動物愛護センター施設配置図



## 動物愛護センター



## 鳥獣保護センター



(4) 組織及び職員構成 (平成29年度)

	所長	業務課	計
獣医師	1	4	5
事務吏員		2	2
事務吏員(技術系)		6	6
事務補助員		1	1
計	1	13	14

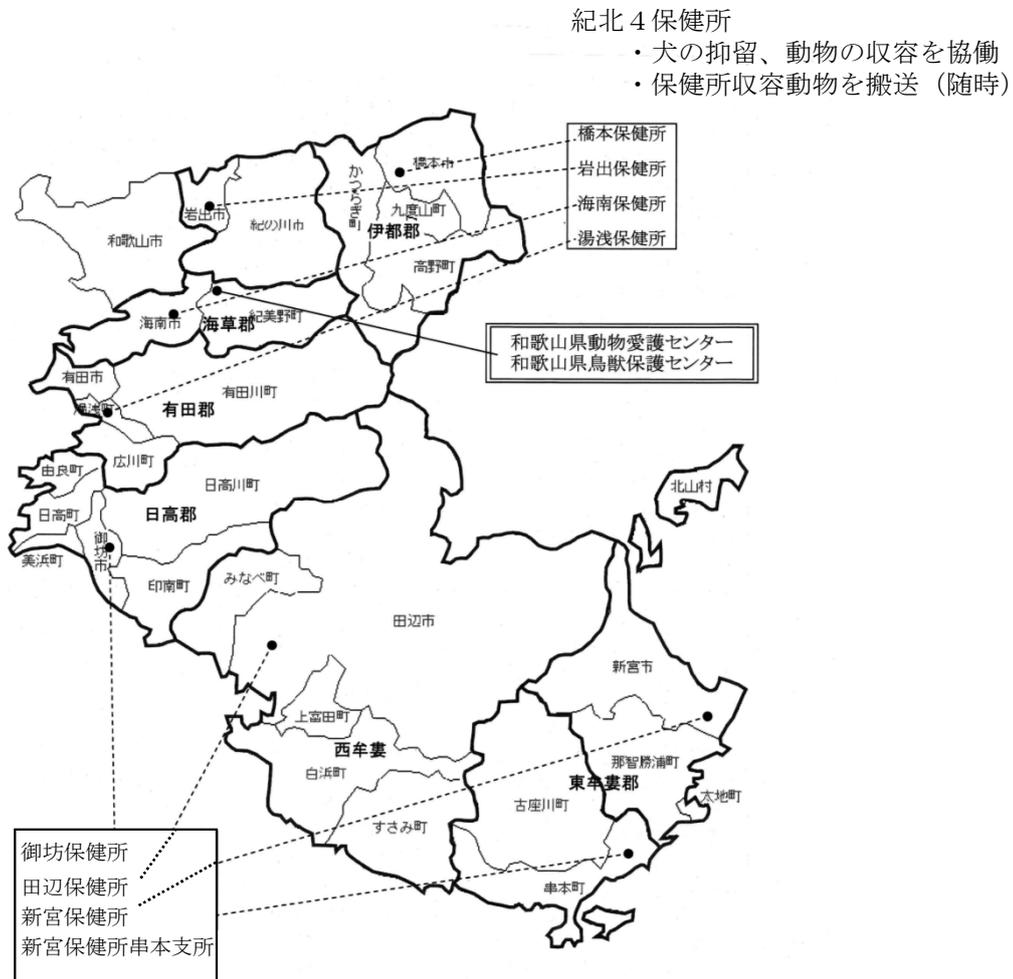
\* 鳥獣保護センターと兼務

2 業務の内容

- 1) 動物愛護センターは動物愛護精神の高揚を図り、もって人と動物が共生する潤いある社会づくりに寄与することを任務とし、次の事務を所掌する。
  - (1) 動物の愛護および適正飼養についての普及啓発に関すること。
  - (2) 動物の保護管理及び動物による危害の防止に関すること。
  - (3) 犬及び猫の引き取りに関すること
  - (4) 負傷動物の収容措置に関すること。
  - (5) 収容した動物の返還、譲渡及び殺処分に関すること。
  - (6) 地域猫の手術に関すること。
  - (7) 狂犬病予防対策に関すること。
  - (8) 動物由来感染症等の調査研究に関すること。
  - (9) その他任務の達成に必要なこと。
  
- 2) 鳥獣保護センターは、傷病鳥獣の救護及び鳥獣保護思想の普及を図ることを任務とし、次の事務を所掌する。
  - (1) 傷病鳥獣の治療及び機能回復に関すること。
  - (2) 鳥獣保護に関する調査研究に関すること。
  - (3) その他任務の達成に必要なこと。

### 3 管轄区域図

面積 4,724.69 km<sup>2</sup>  
 人口 587,547 人 (和歌山県統計情報館の平成29年4月1日推計人口による。)



	管轄市町村
橋本保健所	橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町
岩出保健所	岩出市、紀の川市
海南保健所	海南市、紀美野町
湯浅保健所	有田市、湯浅町、広川町、有田川町
御坊保健所	御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町
田辺保健所	田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町
新宮保健所	新宮市、那智勝浦町、太地町、北山村
新宮保健所串本支所	古座川町、串本町

\* 和歌山市は中核市のため管轄外

#### 4 主要備品一覧

棚・保管庫等	検査・診断・処置
器具保管戸棚 ボトルキャビネット 薬品保管戸棚 ステンレス保管庫 ステンレス薬品保管庫 超低温保管庫 冷蔵保管庫 冷凍冷蔵庫 食器消毒保管庫 紫外線殺菌消毒保管庫	診察台 処置台 手術台 ステンレス作業台 レントゲン撮影装置一式 自動現像器 シャウカステン灯 小動物全身麻酔装置一式 心電計 電動バリカン
事務用品	電気メス
印刷用輪転機 シュレッター ファクシミリ一式	電気焼烙器 ハロゲン眼耳鼻咽喉頭診断機器セット 病理解剖器具一式
啓発事業	超音波洗浄機
一眼レフカメラ一式 二眼レフカメラ一式 デジタルカメラ一式 デジタルビデオカメラ一式 マイクロCCDスコープ OHP スライド映写機 ワイヤレスマイク・アンプセット一式 心音拡大聴診装置 テント一式	超音波ピペット洗浄機 オートクレーブ 煮沸消毒器 乾熱滅菌器 蒸留水製造装置 ドラフトチャンバー 恒温槽 インキュベーター デシケーター 上皿電子天秤 小型卓上遠心機
車 輦	ホモジナイザー ストマッカー 生物顕微鏡 三眼生物顕微鏡 三眼実体顕微鏡
軽四輪貨物自動車（保護活動車） 小型貨物自動車（保護活動車） 普通貨物自動車 愛護啓発自動車	標本撮影装置 血液自動分析装置 卓上蛋白計 コロニーカウンター 単眼生物顕微鏡
保護業務	マイクロチップリーダー
携帯電話機 トランシーバー 捕獲器 麻酔銃（圧縮ガス式ピストル型）	
飼育管理	
スタンド式ドライヤー グルーミング用乾燥機	

## 5 取材等対応状況

下表のとおり取材対応を行った。

### 新聞

月日	取材者	取材内容
5月10日	紀伊民報	犬・猫の飼い方講習会&譲渡会in田辺商工フェアについて
6月22日	ニュース和歌山	猫の殺処分数について
7月3日	リビング和歌山	夏休み獣医師体験教室&飼育体験教室について
8月16日	わかやま新報	夏休み獣医師体験教室について
8月30日	読売新聞	ミルクボランティア、一時預かりボランティア、譲渡ボランティア講習会について
9月8日	リビング和歌山	ミルクボランティア、一時預かりボランティア、譲渡ボランティア募集説明会について
9月8日	毎日新聞	ミルクボランティア、一時預かりボランティアについて
9月11日	リビング和歌山	WAWフェスタin動物愛護週間について
9月30日	読売新聞	WAWフェスタin動物愛護週間について
12月7日	アリカイナ	ミルクボランティア、一時預かりボランティア、譲渡ボランティア講習会について
1月17日	紀伊民報	犬・猫の飼い方講習会&譲渡会in田辺について
1月20日	読売新聞	ミルクボランティアについて
1月25日	ニュース和歌山	ミルクボランティア、一時預かりボランティア、譲渡ボランティアについて
1月31日	読売新聞	犬・猫の飼い方講習会&譲渡会in御坊について
2月1日	読売新聞	春休み獣医師体験教室&飼育体験教室について
2月7日	アリカイナ	ミルクボランティア、一時預かりボランティア、譲渡ボランティア講習会について
2月15日	リビング和歌山	ミルクボランティア、一時預かりボランティア、譲渡ボランティア講習会について
2月16日	紀伊民報	犬・猫の飼い方講習会&譲渡会in串本について
2月16日	紀伊民報	ミルクボランティア、一時預かりボランティア、譲渡ボランティア講習会について
3月16日	読売新聞	ミルクボランティアについて
3月19日	わかやま新報	特別セミナー「幼齢動物のケアと疾患」について

### テレビ・ラジオ

月日	取材者	取材内容
9月15日	NHK和歌山	ミルクボランティア、一時預かりボランティア、譲渡ボランティア講習会について
9月21日	NHK和歌山	犬・猫の飼い方講習会&譲渡会in新宮について
9月27日	NHK和歌山	WAWフェスタin動物愛護週間について
9月28日	NHK和歌山	WAWフェスタin動物愛護週間について
3月29日	NHK和歌山	春休み獣医師体験教室について

## 第Ⅱ章 動物愛護センター

平成29年度年間事業実施状況

事業名		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
動物の保護に関する事業	動物関係苦情処理	←											→		
	犬猫の引き取り	←											→		
	負傷動物の収容・治療等	←											→		
	犬猫の失踪届受理・照合	←											→		
	野犬等の抑留	←											→		
	咬傷犬の狂犬病診断	←											→	必要に応じて診断	
動物愛護等啓発事業	譲渡事業	犬猫の譲渡	←										→		
		飼い方講習会	←										→	毎月3回	
	動物愛護に関する説明	←											→	随時受付、実施	
	犬とのふれあい	←											→	平日1回、土日祝2回	
	猫とのふれあい	←											→	毎日1回 夏休み4回、春休み2回開催	
	体験教室	獣医師体験					※							※	夏休み4回、春休み2回開催
		飼育体験					※							※	夏休み4回、春休み2回開催
	イベント「WAWフェスタ」		※					※							年2回開催
	特別セミナー「幼齢動物のケアと疾患」												※		3月18日(日)
	「わうくらす」	連絡調整・実施支援等	←											→	
センターが実施		←											→	小学校18校	
ボランティアとの協働	←												→		
地域猫対策支援事業		←											→		
その他	動物に関する調査研究	←											→		
	動物慰霊祭												※	3月2日(金)	
鳥獣	傷病鳥獣の治療・リハビリ	←											→		
	野生鳥獣に関する調査研究	←											→		

←→ :この期間は随時実施、※:開催期間、開催日

# 1 動物の保護管理に関する事業

## (1) 県内収容頭数及び措置状況（和歌山市除く）

### ①収容状況

単位：頭・匹

		狂犬病	動愛法			計	前年度からの継続飼養
		抑留	所有者引取	拾得者引取	負傷収容		
犬	成	125	56	65	7	253	33
	幼		6	20	17	43	7
	計	125	62	85	24	296	40
猫	成		32	434	46	512	17
	幼		20	1037	51	1108	4
	計		52	1471	97	1620	21
その他	成				0	0	0
	幼				0	0	0
	計				0	0	0

\*狂犬病抑留：狂犬病予防法に基づく犬の抑留

\*動愛法：動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物の収容（所有者からの引取、拾得者からの引取（警察からの依頼含む）、負傷動物の収容）

\*「幼」：収容時に生後90日齢以下のもの（推定含む。以下同じ）

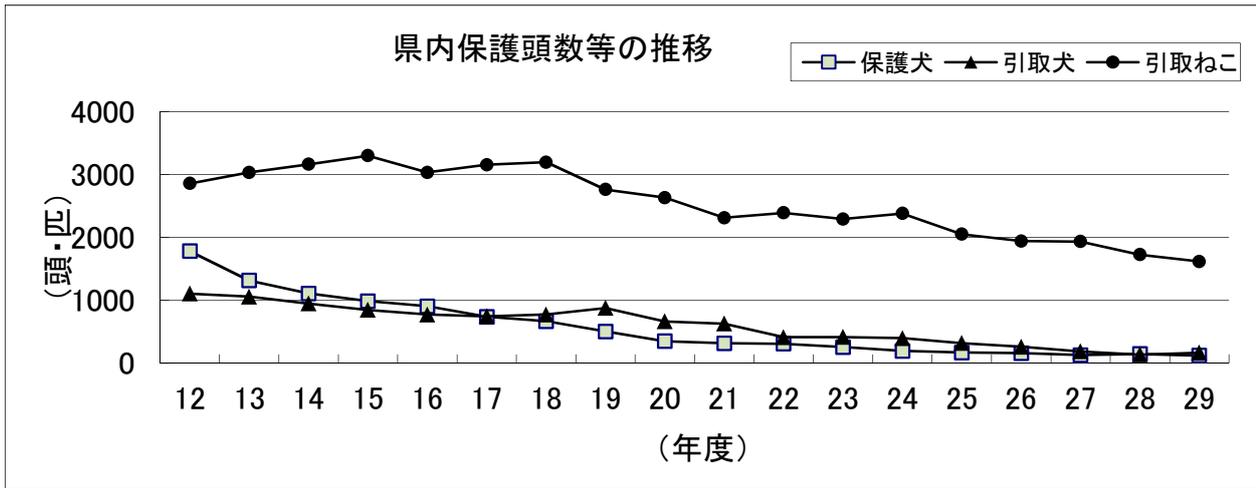
### ②措置状況

単位：頭・匹

		返還		引取取り下げ	譲渡	自然死	殺処分	計	次年度へ継続飼育
		狂犬病	動愛法						
犬	成	43	23	6	25	25	133	255	31
	幼		0	0	37	1	1	39	11
	計	43	23	6	62	26	134	294	42
猫	成		5	5	11	132	354	507	22
	幼		2	0	69	481	552	1104	8
	計		7	5	80	613	906	1611	30
その他	成		0	0	0	0	0	0	0
	幼		0	0	0	0	0	0	0
	計		0	0	0	0	0	0	0

\*返還：「狂犬病予防法」に基づき抑留した犬、「動物の愛護に及び管理に関する法律」に基づき拾得・負傷収容した犬猫を飼い主に返還するもの

\*引取取り下げ：動愛法に基づき実施した所有者から引き取りを取り下げしたもの



\*保護：狂犬病予防法に基づく犬の保護（抑留）

\*引取：動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物の収容（所有者引取、拾得者引取（警察からの依頼含む）、負傷動物収容）

	平成12年度		平成29年度	
保護犬	1785頭	→	125頭	約7.0%に減少
引取犬	1109頭	→	171頭	約15.4%に減少
引取猫	2860匹	→	1620匹	約56.6%に減少

(2) センターにおける収容頭数及び措置状況

①収容状況

単位：頭・匹

		引取		負傷 収容	保健所からの搬入		計	前年度か らの継続 飼養
		所有者	拾得者		紀北4保健所	紀南4保健所		
犬	成	0	3	0	102	91	196	31
	幼	0	13	0	11	18	42	7
	計	0	16	0	113	109	238	38
猫	成	0	12	1	169	287	469	14
	幼	0	71	0	461	357	889	1
	計	0	83	1	630	644	1358	15
そ の 他	成	0	0	0	0	0	0	0
	幼	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0

\*引取：動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物の収容（所有者からの引取、拾得者からの引取）

\*「幼」：収容時に生後90日齢以下のもの（推定含む。以下同じ）

\*保健所からの搬入：保健所に収容された犬猫のうち、返還されなかった犬猫をセンターへ搬入する。

\*紀北4保健所（橋本、岩出、海南、湯浅）

\*紀南4保健所（御坊、田辺、新宮、串本）

②措置状況

単位：頭・匹

		返還		引取取り 下げ	譲渡	自然死	殺処分	計	次年度へ 継続飼育
		狂犬病	動愛法						
犬	成	9	7	2	25	23	133	199	28
	幼		0	0	37	0	1	38	11
	計	9	7	2	62	23	134	237	39
猫	成		0	5	11	96	353	465	18
	幼		0	0	69	337	483	889	1
	計		0	5	80	433	836	1354	19
そ の 他	成		0	0	0	0	0	0	0
	幼		0	0	0	0	0	0	0
	計		0	0	0	0	0	0	0

\*返還：「狂犬病予防法」に基づき保護した犬を飼い主に返還するもの、「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき収容した犬ねこを飼い主に返還するもの

(3) 県内苦情受理件数 (延べ数)

単位：件

苦情内訳	抑留	放し飼い	鳴き声	田畑荒らし	糞尿	恐怖	所有者引取	拾得者引取	負傷動物収容	迷い犬・猫	失踪問い合わせ	飼育指導	咬傷事故	遺棄	虐待	餌やり行為	その他	合計
犬	192	34	31	2	16	6	75	61	15	143	242	18	22		5	1	30	893
ねこ	0	0	3	53	92	3	46	722	82	46	306	36	0	6	4	109	90	1598
その他*	1	0	0	0		0	0	0	0	4	13	0	0	0	0	0	3	21
計	193	34	34	55	108	9	121	783	97	193	561	54	22	6	9	110	123	2512

\*ウサギ、烏骨鶏、鶏など

(4) センター苦情受理件数 (延べ数) (再掲)

単位：件

苦情内訳	抑留	放し飼い	鳴き声	田畑荒らし	糞尿	恐怖	所有者引取	拾得者引取	負傷動物収容	迷い犬・猫	失踪問い合わせ	飼育指導	咬傷事故	遺棄	虐待	餌やり行為	その他	合計
犬	0	0	0	0	0	0	6	2	0	24	51	0	0	0	0	0	3	86
ねこ	0	0	0	0	0	0	3	17	0	10	52	1	0	0	0	0	10	93
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3
計	0	0	0	0	0	0	9	19	0	35	104	1	0	0	0	0	14	182

\*抑留、放し飼い等の苦情については、管轄する保健所に回付しているため計上していません。

\* 苦情内訳

- ・抑留：首輪をしていない犬、犬鑑札等が着いていない犬の抑留
- ・放し飼い：飼い犬が放し飼いにされている。
- ・鳴き声：犬猫等の鳴き声により、生活環境が悪化している。
- ・田畑荒らし：犬猫等により田畑が荒らされて困っている。
- ・糞尿：犬猫等の糞尿により生活環境が悪化している。
- ・恐怖：犬猫等により恐怖を覚え、生活がままならない。
- ・所有者引取：飼い主からの犬猫の引き取り
- ・拾得者引取：拾得者からの犬猫の引き取り
- ・負傷動物収容：負傷している犬猫等の収容
- ・迷い犬・猫：飼い主がわからない犬猫等を保護している。
- ・失踪問い合わせ：飼い犬飼い猫が失踪し行方を探している。
- ・飼育指導：不適切な飼育状況が確認され指導の必要がある。
- ・咬傷事故：犬猫等による咬傷事故等が発生した
- ・遺棄：犬猫等の遺棄があった。
- ・虐待：犬猫等に対して虐待が考えられる。
- ・餌やり行為：犬猫等に対し、不適切な餌やり行為がみられる。
- ・その他：上記以外のもの。例えば地域猫対策に関する相談など。

#### (5) 狂犬病の診断

センターでは収容した犬のうち、飼い主不明で交傷事故を起こした犬について、狂犬病の診断を行っている。

また、必要に応じて、狂犬病の疑いのある犬等を解剖して、検査を行う体制をとっている。

平成29年度 実施件数 0件

## 2 動物愛護等啓発事業

### (1) 動物の譲渡事業

「動物の愛護及び管理に関する法律」の趣旨及び動物愛護の基本理念を踏まえ、生命尊重及びモラルの向上を図り、県民に適正飼養及び動物愛護精神を普及させることを目的として、センターに収容した動物を新たな飼い主に譲渡している。

平成 28 年度からは、譲渡にかかる各ボランティア（③を参照）の協力を得て行っている。

#### ①譲渡頭数（頭・匹）

		個人譲渡	譲渡ボランティア	総数
犬	成	20	5	25
	幼	34	3	37
	小計	54	8	62
猫	成	8	3	11
	幼	44	25	69
	小計	52	28	80
合計		106	36	142

\*「幼」とは収容時に生後 90 日齢以下であったもの(推定含む)

#### ②飼い方講習会（開催数及び受講者数）

譲渡を受けるに際しては、『飼い方講習会』の受講を必須としている。なお、平成 21 年度から県立保健所等においても『出張飼い方講習会』を実施している。

	開催場所	回数	受講者数 (組)
出張	橋本保健所*	3	9
	御坊保健所	4	12
	田辺保健所	2	18
	新宮保健所	3	14
	新宮保健所串本支所	2	11
	田辺商工フェア	1	6
	小計	15	70
動物愛護センター		36	168
合計		51	238

\*橋本保健所における 1 回 1 組は保護協力者譲渡のため臨時で開催

#### ③譲渡にかかるボランティア制度

ボランティアとして活動を行おうとする者は、ボランティア講習会（随時開催）をあらかじめ受講し、活動したいボランティアの種別ごとに登録を行う。

- ・譲渡ボランティア

センターに収容された犬又は猫を譲り受け、新たな飼い主を非営利目的で探す活動を行うボランティア。平成28年6月から開始した。

- ・ミルクボランティア

県立保健所やセンターに収容された自力で摂食できない授乳期の犬又は猫を授乳期が終わるまで育成するボランティア。平成28年6月から開始した。

- ・一時預かりボランティア

センターに収容された犬又は猫を、その動物の社会化を図るために一時的に預かるボランティア。平成29年7月から開始した。

- ・ボランティアの登録数（個人または団体）、ボランティアへの一時預け・譲渡頭数

種別	登録数*	一時預け・譲渡頭数		
		犬	猫	計
譲渡	団体：5、個人：9	8	28	36
ミルク	団体：0、個人：47	11	24	35
一時預かり	団体：1、個人：16	1	0	1

\*重複して登録している方がいます。

#### ④譲渡後のフォロー、「わうくらぶ」との協働

センターから犬猫の譲渡を受けた方を対象に、譲渡後のフォローとして、飼い方相談を行っている。

また、センターから譲渡された飼い主が平成19年3月に立ち上げたサークル「わうくらぶ」が、譲渡者同士の交流や会報による情報提供などを行っている。

##### a. 飼い方相談

参加数 2組

##### b. わうくらぶ

- ・会員数 平成30年3月末 43組

- ・会報 年3回発行

- ・里帰り運動会 平成29年4月16日 21組参加

## (2) 動物愛護に関する説明

動物愛護啓発の一環として、センターを利用する各種団体等に対して動物愛護に関する説明を行った。

### ①動物愛護教室

保育所・幼稚園・小学校・各種団体等の児童に対して、心音聴取や犬の気持ち、犬とのふれあいを通して、命の大切さや他者へ思いやりなどを伝えている。

	保育所・幼稚園	小学校	その他*	合計
学校等の数(組)	21	11	18	50
参加者数(人)	1,668	714	971	3,353

\*その他：学童保育、ボーイスカウト、ガールスカウト、親子教室等

### ②AAA(Animal Assisted Activity：動物介在活動)

高齢者福祉施設、障がい者福祉施設等の利用者に対して、情緒の安定やレクリエーションを目的として、動物とのふれあいを行っている。

団体数	参加人数
10	388

### ③事業説明・施設見学

各種団体に対して、センターの事業説明、施設の見学等を行っている。

団体数	参加人数
1	14

## (3) 犬とのふれあい

来館者を対象に、センターのスタッフ犬や譲渡予定の子犬とのふれあいを実施している。

譲渡予定の子犬にとっては、いろいろな人に触れられることに慣れ、家庭犬としての社会化を図ることを目的としている。

### 実施時間・場所等

平日 14:30～15:00 (1回)

土日祝 11:00～11:30、14:30～15:00 (2回)

ふれあいドーム

## (4) 猫とのふれあい

来館者を対象に、センターのスタッフ猫や譲渡予定の猫とのふれあいを実施している。

### 実施時間・場所等

平日・土日祝 13:00～13:30 (1回)

マッチングルーム

(5) 体験教室・職業体験

①飼育体験教室

	実施回数	参加人数
夏休み飼育体験教室	4回	32人
春休み飼育体験教室	2回	15人

②獣医師体験教室

	実施回数	参加人数
夏休み獣医師体験教室	4回	32人
春休み獣医師体験教室	2回	11人

③獣医学生インターンシップ研修

	実施日	参加人数
北里大学	8月30日～31日 (2日間)	1人
帯広畜産大学	1月21日～22日 (2日間)	1人

④職業体験・学生研修・教員研修

	実施日	参加人数
紀美野町立野上中学校 (中学生)	5月24日～26日 (3日間)	4人
紀美野町立美里中学校 (教員)	8月 2日、4日 (2日間)	1人

(6) イベント事業

①WAW FESTA (わうフェスタ)

イベント名／開催日	内 容	来館者数 (人)
WAW フェスタ i n ゴールデンウィーク 5月3日(水・祝) ～5日(金・祝)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物とのふれあい(犬・ウサギ)</li> <li>・ヤギの散歩体験</li> <li>・動物〇×クイズ</li> <li>・ミニ獣医師体験コーナー</li> <li>・動物ぬりえコーナー</li> <li>・プラ板で迷子札をつくろう</li> <li>・人形劇「くりちゃんと学ぼう」</li> <li>*犬の散歩体験</li> <li>*犬のしつけ方・動物のケア相談</li> <li>*特別セミナー(日替わり)</li> <li>*わうくらぶ活動紹介</li> </ul>	8,028
WAW フェスタ i n 動物愛護週間 9月30日(土) ～10月1日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物とのふれあい(犬・ウサギ)</li> <li>・ヤギのえさやり</li> <li>・動物〇×クイズ</li> <li>・動物ぬりえコーナー</li> <li>・プラ板で迷子札をつくろう</li> <li>・人形劇「くりちゃんと学ぼう」</li> <li>*犬の散歩体験</li> <li>*犬のしつけ方・動物のケア相談</li> </ul>	2,000

\*県民参加登録ボランティアの協力により実施

②特別セミナー等

セミナー名等	実施日	参加数
幼齢動物(犬・猫)のケアと疾患	平成30年3月18日	33名

③センター外イベント等参加

各地で催されるイベント等に参加を行い、動物愛護普及啓発事業を実施した。

イベント名	実施日	実施場所
第12回紀美野町文化祭	平成29年11月3日	紀美野町文化センター

④その他

イベント名	実施日	概要
紀美野ふれあいマラソン	平成29年12月17日	紀美野町に協力。センター敷地内がマラソンコースの一部となった。

(7) 「わうくらす」事業

平成14年度から、小学校における総合的な学習の時間等を利用して動物愛護について学習する動物愛護教室『わうくらす (Wakayama Animal Welfare Class の略)』を実施している。実施に際しては、県立保健所職員やセンター職員が講師となる。

また、平成20年度からは、動物愛護センターを利用した小学校に対しても実施している。

① 平成29年度の実施

	小学校数(校)	児童数(名)
出張型 (小学校での実施)	22	882
うちセンター職員が講師	8	270
来館型 (センターでの実施)	10	605
計	32	1487

i 出張型 (各小学校での実施状況)

市町村	学校名	学年	実施時間数
橋本市	学文路小学校	1、2年生希望者	放課後1時間
	三石小学校	4年生希望者	放課後1時間
紀の川市	東貴志小学校	6年生	5時間
	川原小学校	1、2年生	各1時間
海南市	巽小学校	3年生	10時間
	日方小学校	3年生	10時間
	大野小学校	4年生2クラス	各8時間
	黒江小学校	1～3年生	1時間
紀美野町	野上小学校	6年生	6時間
	下神野小学校	1～3年生	各学年2時間
湯浅町	山田小学校	1～6年生	2時間
	湯浅小学校	2年生	2時間
日高町	志賀小学校	1～6年生	各学年2時間
由良町	衣奈小学校	1～6年生	各学年2時間
印南町	印南小学校	1、2年生	各1時間
日高川町	寒川第一小学校	1～6年生	各2時間
	三百瀬小学校	1、2年生	1時間
	笠松小学校	1～6年生	各学年1時間
	中津小学校	1～3年生	各学年2時間

田辺市	ひがし学童保育所	1～3年生	1時間
	芳養小学校	3年生	1時間
新宮市	三輪崎小学校	1年生	1時間

ii 来館型（動物愛護センターでの実施状況）

社会見学等でセンターを利用する和歌山県内の小学校が対象。

内容：「命を感じる」「犬との接し方」の講義。

動物愛護・適正飼育普及アニメ「こいぬ物語」の視聴。

実施校

和歌山市	楠見小学校
紀の川市	田中小学校
海南市	中野上小学校
有田市	箕島小学校、初島小学校、保田小学校、宮原小学校
湯浅町	湯浅小学校
有田川町	御霊小学校、小川小学校

（参考）

和歌山市保健所による「わうくらす」

中核市である和歌山市においては和歌山市保健所が実施している。

平成29年度実施校

岡崎小学校、三田小学校、小倉小学校、福島小学校、山口小学校、加太小学校、新南小学校、川永小学校、貴志小学校、楠見西小学校、四箇郷北小学校、紀伊小学校、木ノ本小学校、宮小学校、雑賀崎小学校、東山東小学校、ふじと台小学校、松江小学校、山東小学校（19校）

## ② わうくらす講習会、研修会

わうくらすは講師及び講師補助の協働による授業である。わうくらすを更に県内へ広く展開するために、平成16年度から講師及び講師補助を育成するための講習会を実施している。

また、講師及び講師補助の研鑽として研修会を実施している。

講師：センター及び保健所の獣医師、学校教諭

- ・ 中心となって授業を進める。
- ・ 事業の目的を理解し、授業の内容が効果的に伝わるように実施する。

講師補助：ボランティアやセンター及び保健所の狂犬病予防技術員

- ・ 事業の目的を理解し、授業内容が効果的に行われるように講師を補助する。
- ・ 適切に飼養された動物と共に参加する。

動物：ボランティアの飼養動物、センターのスタッフ犬

- ・ 審査に合格した動物を使用する。

平成29年度実施

	対 象	開催日	参加
講習会	学校教諭	平成29年8月21日	3名
	ボランティア	8月24日	9名
		8月30日	1名

(8) ボランティアとの協働

「和歌山県動物の譲渡等要綱」、「県民参加により実施する動物愛護普及啓発事業実施要綱」により、各事業についてボランティアと協働している。

① ボランティア登録数\* (平成 30 年 3 月 31 日現在)

事業	種類	登録数
譲渡事業	譲渡 (再掲)	団体 : 5、個人 : 9
	ミルク (再掲)	団体 : 0、個人 : 47
	一時預かり (再掲)	団体 : 1、個人 : 16
啓発事業	犬のしつけ方教室	団体 : 2、個人 : 4
	WAW FESTA (わうフェスタ)	団体 : 5、個人 : 23
	わうくらす事業	団体 : 3、個人 : 79
	その他	団体 : 1

\*重複して登録している方がいます。

② 平成 29 年度各事業実績

a. 譲渡事業

- ・譲渡ボランティアに成犬 5 頭、仔犬 3 頭、成猫 3 匹、仔猫 25 匹を譲渡し、そのうち成犬 3 頭、仔犬 3 頭、成猫 3 匹、仔猫 25 匹が再譲渡された。
- ・ミルクボランティアにより仔犬 11 頭、仔猫 24 匹を離乳するまで育てていただき、そのうち当所から仔犬 11 頭、仔猫 23 匹を譲渡した。
- ・一時預かりボランティアに成犬 1 頭を預けた。

b. 犬のしつけ方教室 (延べ数)

教室名	開催回数	受講人数	講師人数
犬のしつけ方教室in有田川	11	86	23
犬のしつけ方教室in動物愛護センター	6	16	8
犬のしつけ方教室in日高	12	131	22
WITH DOG 家庭犬のしつけ方教室	18	85	31
紀見北愛犬しつけ教室	16	36	16
きしがわドッグスクール	16	90	16
計	79	444	116

c. WAW FESTA (( )内は参加登録ボランティア延べ人数)

- ・犬の散歩体験教室 (23)
- ・犬のしつけ方・動物のケア相談 (11)
- ・特別セミナー (19)

・わうくらぶ活動紹介（3）

d. わうくらす事業

登録ボランティアは、とくに動物を使用する授業内容を実施する際に補助として参加している。

また、審査に合格したボランティア自身の飼い犬を連れて参加することもある。

平成29年度 参加日数42日 延べ129名

e. その他

・わうくらぶ里帰り運動会

センターからの譲渡者で構成されるサークル“わうくらぶ”が、譲渡者間の交流を図る「里帰り運動会」を開催している。運動会の開催に際しては「犬のしつけ方教室」に登録しているボランティアも、スムーズな運営のために協力している。

実施日：平成29年4月16日 21組参加

### 3 地域猫対策支援事業

本県では、平成28年度から「地域猫対策支援事業」を始めた。事業の内容は、地域猫対策計画を認定された方への①不妊去勢の無料手術券の交付、②認定を受けた地域猫対策であることを示す標章の交付、③地域猫対策実施者の腕章の交付、④捕獲おりの貸出、⑤支援ボランティアの紹介がある。

#### (1) 地域猫の手術

センターでは手術券の対象となる地域猫の不妊去勢手術（オスは精巣全摘出術、メスは原則として卵巣子宮全摘出術）を行うとともに、手術済みであることを外部から容易に確認することができるよう、耳先をV字にカット（オスは右耳、メスは左耳）する。

不妊去勢手術実施済みの猫は、V字カットのみ実施する。

#### 実施件数

	不妊去勢手術 実施数	耳先V字カット 実施数
オス	42	43
メス	38	42
合計	80	85

#### (参考)

地域猫対策とは、飼い猫以外の猫に対し、継続的に又は反復して給餌、給水および排泄物の適正な処理を行うとともに、当該猫が生殖をすることができる場合にあっては、生殖を不能にする手術（不妊去勢手術）を行うことをいう。

## 第Ⅲ章 調査研究

### 1 野良猫における動物由来感染症病原体保有状況調査

近年、社会的な問題となっている重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について、感染リスクや予防方法を県民の方々や医療関係者に情報提供し、もって未然に感染を防止又は早期治療につなげるために、野良猫における SFTS 抗体の保有状況調査を行っている。また、各種寄生虫の保有状況についても調査を行っているところである。

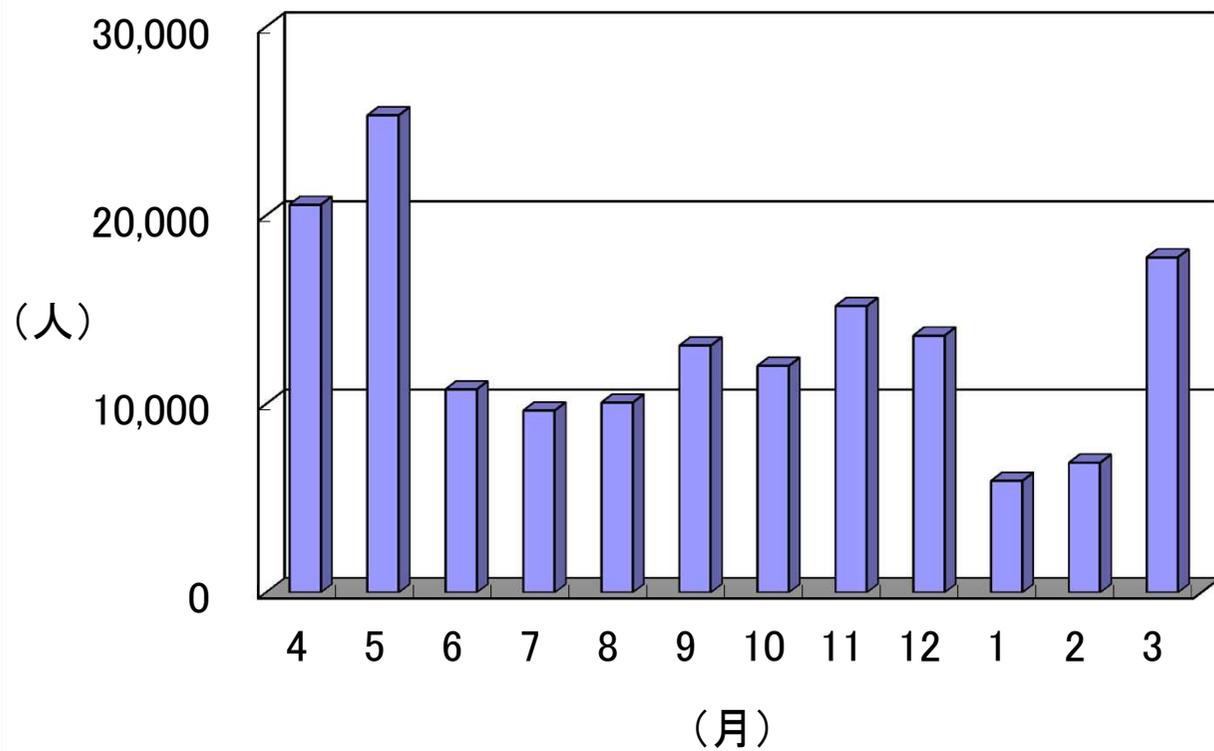
## 2 調査研究年表

年度	演 題	発 表 場 所
12	飼いねこに対する県民意識と飼育実態調査について	所内発表
13	和歌山県動物愛護センターにおけるふれあい譲渡対象犬の糞便検査による内部寄生虫卵保有調査について	所内発表
14	和歌山県動物愛護センターにおける譲渡犬の譲渡後調査	日本獣医公衆衛生学会(近畿)
15	総合学習の一環としての動物愛護教室「わうくらす」	全国動物管理関係事業所協議会
16	総合学習の一環としての動物愛護教室「わうくらす」(第2報)	日本獣医公衆衛生学会(近畿)
18	ケタミンの麻薬指定に伴う代替薬品の検討	全国動物管理関係事業所協議会
	犬の譲渡後の支援・調査が適正飼養に与える効果	全国動物管理関係事業所協議会
	動物愛護教室に係るアンケート調査結果	和歌山県公衆衛生学会
19	ねこの譲渡講習会の内容を改善したことによる適正飼育普及効果	和歌山県公衆衛生学会
20	犬の保護業務における経口麻酔薬の有効性の検討	全国動物管理関係事業所協議会
	和歌山県内における犬の狂犬病ウイルスの対する中和抗体調査	日本獣医公衆衛生学会(近畿)
	「わうくらす」が子どもの動物への共感性および向社会的行動の発達に与える効果	和歌山県公衆衛生学会
21	小学生を対象とした動物愛護教室「わうくらす」の紹介	全国動物管理関係事業所協議会
23	和歌山県における犬の引取理由の調査とよりよい譲渡制度の考察(ポスター)	ヒトと動物の関係学会
25	平成23年の台風12号により被災した地域で保護した犬について	全国動物管理関係事業所協議会
26	本県における猫の寄生虫感染状況の調査と猫の適正飼養の重要性について啓発する。	公益財団法人大同生命厚生事業団「地域保健福祉研究助成」
	動物の失踪問い合わせに関するFacebookの活用について	全国動物管理関係事業所協議会
	平成25、26年度回収分来館者アンケートについて	所内発表



資料  
平成29年度来館者数 160,868人

平成29年度月別来館者数



年度別来館者数

年度	来館者数 (千人)
17	213
18	219
19	215
20	204
21	217
22	180
23	185
24	194
25	180
26	187
27	186
28	180
29	161

平成29年度狂犬病予防法に基づく登録数及び予防注射済票交付数

管轄保健所名	市町村名	登録数(*1)							予防注射済票交付数			注射実施率
		前年度登録数	新規登録数	登録犬の死亡届出数	登録犬の転出数	登録犬の転入数	登録犬の不明数	今年度登録数	開業獣医師実施	開業獣医師以外実施(*2)	合計	
岩出保健所	紀の川市	3,753	285	211	5	21	91	3,752	1,917	7	1,924	51.3%
	岩出市	2,650	153	135	9	31	58	2,632	1,710	2	1,712	65.0%
	小計	6,403	438	346	14	52	149	6,384	3,627	9	3,636	57.0%
橋本保健所	橋本市	3,760	194	276	19	27	5	3,681	2,503	2	2,505	68.1%
	かつらぎ町	1,113	36	78	2	6	0	1,075	629	0	629	58.5%
	九度山町	241	12	14	0	0	0	239	159	0	159	66.5%
	高野町	230	11	13	1	0	0	227	96	0	96	42.3%
	小計	5,344	253	381	22	33	5	5,222	3,387	2	3,389	64.9%
海南保健所	海南市	2,296	142	189	12	4	3	2,238	1,680	0	1,680	75.1%
	紀美野町	558	56	58	12	1	0	545	293	37	330	60.6%
	小計	2,854	198	247	24	5	3	2,783	1,973	37	2,010	72.2%
湯浅保健所	有田市	1,336	60	62	7	3	0	1,330	773	0	773	58.1%
	湯浅町	422	22	19	1	4	2	426	238	0	238	55.9%
	広川町	354	25	31	2	0	1	345	224	0	224	64.9%
	有田川町	1,309	97	87	5	6	21	1,299	973	0	973	74.9%
	小計	3,421	204	199	15	13	24	3,400	2,208	0	2,208	64.9%
御坊保健所	御坊市	1,076	65	103	4	7	0	1,041	688	0	688	66.1%
	美浜町	351	23	22	7	9	0	354	273	0	273	77.1%
	日高町	325	32	26	1	1	26	305	285	0	285	93.4%
	由良町	279	19	9	2	1	2	286	196	0	196	68.5%
	印南町	486	14	61	5	5	0	439	352	1	353	80.4%
	日高川町	573	40	68	1	5	0	549	456	2	458	83.4%
	小計	3,090	193	289	20	28	28	2,974	2,250	3	2,253	75.8%
田辺保健所	田辺市	2,999	227	278	22	34	0	2,960	1,673	0	1,673	56.5%
	白浜町	1,008	111	178	4	7	0	944	610	60	670	71.0%
	みなべ町	794	37	148	0	0	0	683	473	0	473	69.3%
	上富田町	710	54	166	15	4	18	569	461	6	467	82.1%
	すさみ町	259	19	81	2	1	2	194	140	0	140	72.2%
	小計	5,770	448	851	43	46	20	5,350	3,357	66	3,423	64.0%
串本支所	古座川町	272	27	24	8	0	0	267	234	0	234	87.6%
	串本町	857	49	59	2	4	28	821	581	0	581	70.8%
	小計	1,129	76	83	10	4	28	1,088	815	0	815	74.9%
新宮保健所	新宮市	1,140	92	123	8	7	0	1,108	629	0	629	56.8%
	那智勝浦町	766	92	60	11	11	17	781	606	1	607	77.7%
	太地町	184	14	17	0	0	0	181	137	0	137	75.7%
	北山村	31	0	5	0	0	0	26	18	0	18	69.2%
	小計	2,121	198	205	19	18	17	2,096	1,390	1	1,391	66.4%
合計		30,132	2,008	2,601	167	199	274	29,297	19,007	118	19,125	65.3%

第一四半期	合計	30,132	981	722	54	76	99	30,314	15,930	40	15,970	52.7%
第二四半期	合計	30,314	375	380	32	28	30	30,275	1,345	14	1,359	57.2%
第三四半期	合計	30,275	280	660	30	38	19	30,314	841	6	847	60.0%
第四四半期	合計	29,884	372	839	51	57	126	29,297	891	58	949	65.3%

和歌山市								18,177			10,369	57.0%
県計								47,474			29,494	62.1%

\* 1: 今年度登録数=前年度登録数+新規登録数-登録犬の死亡届出数-登録犬の転出数+登録犬の転入数-登録犬の不明数

\* 2: 開業獣医師以外の実施: 保健所、動物愛護センター等の獣医師が注射を実施し市町村が注射済票を交付